

地域ネットワークニュース

～平成29年4月の勉強会のお知らせ & 3月の勉強会報告～

第231回 地域ネットワーク勉強会



発達が気になる子の支援 ～発達検査の理解と活用～

講師：海老原 朱美 氏（臨床発達心理士）
茨城県発達障害者支援センター

4月27日(木)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館
2階 研修室
参加費無料

発達障害などにより、発達が気になる子の特徴の一つとして、できること・できないことの差が激しいことが挙げられます。こうした得意・不得意の偏りなどの、子どもの年齢に応じた発達状況を一定の基準で把握するためのツールとして、発達検査があります。発達検査は、決められた検査器具等を使用しながら客観的に測定するもので、専門的知識を有する臨床心理士などが行います。

この検査結果を活かすことで、普段の接し方のヒントになったり、子どもが過ごしやすい環境を調整する手がかりとなったりして、様々な支援の糸口を掴むことができます。

今回の勉強会では、どのような検査があるのか、具体的に何が分かるのかといった発達検査の基本をはじめ、さらには検査結果の効果的な活用法をお伝えします。診断は福祉サービスの利用や、治療をする上ではとても大切なことですが、発達検査の情報は子どもの現在の状態を知り、今できることや子どもの得意なことを発見し、伸ばすためにとても参考になります。

保育・教育の関係者、放課後等デイサービスや計画相談の担当者など障害児支援に関わる方々の参加をお待ちしています。

※当日は勉強会会場内に情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所のパンフレットやチラシ、研修会案内などありましたら是非ご持参下さい。ご参加頂く皆様からの情報をお待ちしています。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294

第230回 地域ネットワーク勉強会報告

平成29年3月16日開催



ストレスマネジメント講座

<参加者35名>

「自分のストレス傾向について学んでみよう」

講師：宮内厚季 氏

【ハートマップガーデン代表（産業カウンセラー）】

今回の勉強会では、自分の心を「父親」「母親」「大人」「順応した子」「自由な子」の5つに分類し、性格特徴、思考の傾向を分析できる「エゴグラム」を参加者全員で行い、自分自身の物事の考え方、受け止め方など、ストレスから身を守るために「自分を知る」ことの大切さを学びました。

ストレスを感じる環境や事柄は一人ひとり違います。また、同じような事が起こってもコンディションによって跳ね返ることができる時とダメージを受けてしまう時があります。それは、それぞれ個人の人生観、価値観、性格によって、さらにはその時々の環境やモチベーションによって受け止められる許容範囲や許容量が変わってきます。その許容量を超えてしまうことで身体や精神面に影響が生じることから、自分自身の許容範囲を知っておくことがストレスと上手に付き合うコツになります。

普段の生活で他者と接したり、物事を考えたりするときに、自分にはどのような思考がベースにあるか、性格的な側面を見つめながら、ストレスと向き合う、ストレスと上手に付き合うポイントを知ることができました。